



大切な晴れ着の ケアはおまかせ

きものを着る機会は少なくなりましたが、お正月や成人式には、きものでおしゃれしたいものです。

◎きもでの所作は優雅で賢い

伝統衣装であるきものを着る時には、日本人の生活文化も一緒に考えてください。きものを着たときの所作（動作）には、見た目の優雅さだけではなく、きものを大切に着こなすための知恵もふくまれています。

きものを着た時は、内股で歩くと前の裾が乱れることがなく着崩れしにくくなります。また、かかとが外側に向かうために、裾が泥跳ねなどで汚れるのを防ぎます。食事の時、袂（たもと）に手を添えると、食べ物のシミが袖につきにくくなります。



◎きものの絹素材は汚れが染み込みやすい

素材に使われる絹繊維は、極めて細かいタンパク質繊維です。食品や飲料がつくと生地に浸透しやすく、取れにくいシミになってしまいます。仕舞う前に必ずクリーニングしましょう。



まごころクリーニング
ホームドライ

TEXTILE®
TC ARE
品質情報研究所